

事務事業名		職員研修事業		会計	一般会計	実施区分	継続	
H29作成課等名		人事課	H29係等名	人事係	H28担当課等名			人事課
基本計画上の位置づけ		政策	9	市民と共に進める行政経営				
		施策	93	良質な行政サービスの提供				
目的	対象(誰・何を)	職員(全職員) ①対象が特定されるもの[各階層の職員] ②対象が特定できないもの[職務内容に関係なく受講させたいとする職員]					指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	飯田市の職員としてそれぞれの立場で求められる知識や能力を身につけてもらう					①:研修ごとの該当職員数(人)	1710
	向上させたい上位施策の成果指標	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合(%)					②:受講してもらいたい職員数(人)	1307
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	研修終了時のアンケートから把握できる満足度の高さ(「普通」以上の割合)(%)		98	95.3	98	95.2	
	定性目標							
事業概要	<p>地方分権時代に対応した十分な能力と実行力を備えた職員を育成するため、階層別、業務内容及び課題に応じた研修を職場内外において実施する。</p> <p>具体的な取り組みは、人材育成基本方針に則り、①政策立案能力・仕事力の強化、②キャリア形成支援の強化、③管理監督職のマネジメント力の強化の3点に重点を置いて職員研修を展開する。</p> <p>①政策立案能力・仕事力の強化では、職員の能力開発段階や職位段階に応じて、主体的・自律的に能力開発を進められるよう、階層別研修を実施する。</p> <p>②キャリア形成支援の強化では、職員が今後のキャリア形成を明確にし、自己の目標を主体的にとらえ、積極的に能力開発に取り組めるよう、キャリア形成を考える機会を提供する。</p> <p>③管理監督者のマネジメント力の強化では、管理監督者が担うべきマネジメント上の役割について認識を深める研修を実施する。その他、職員の自主研修への支援を実施する。</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	<p>1 新規採用職員研修(採用前、採用時、文章事務、正式任用前、自動車安全運転研修、接遇)</p> <p>2 年齢別・階層別集合研修(現任係長、現任課長補佐、新任昇格者、人事評価評定者、人事評価基礎、キャリアマネジメント、若手、政策形成、eラーニング)</p> <p>3 選択研修(中央省庁等長期派遣、市町村アカデミー派遣、異業種交流、救急救命講習、自主提案研修、接遇研修)</p>			<p>1 参加職員数</p> <p>2 参加職員数</p> <p>3 参加職員数</p> <p>総人数</p>		<p>1 405人</p> <p>2 288人</p> <p>3 614人</p> <p>1,307人</p>		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		12,685	15,046	12,307	0			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		12,685	15,046	12,307				
人件費計(千円)②		7,628	7,628	7,628	0			
正規職員所要時間		2,133	2,133	2,133				
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		20,313	22,674	19,935	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り		<ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員の自動車安全運転講習を採用前から採用後に行うこととし、参加者数の増加を図った。 仕事と生活の調和の推進に関する事業主行動計画の策定にあたり、管理職員マネジメント研修を新規に実施した。 市民サービス向上のため、窓口職員に対して接遇研修を実施した。 						
改革改善の考え方	①問題点	<ul style="list-style-type: none"> 管理職の資質向上のための研修を行う。 全ての職員が接遇研修を受けられる工夫を行う。 						
	②改革提案	<ul style="list-style-type: none"> 管理職に対する研修をシリーズ化し、毎年テーマを変えて資質向上のための研修を行う。 接遇研修を時期、時間を変えて複数回実施する。 						